



Handwritten Japanese characters on the red strip, likely the title or volume information. The characters are written vertically and appear to be '三篇' (Sanpen) at the bottom and '山部' (Yamabe) at the top.



特別
~13
4203
8



本久 廿

花情 風月 春 告鳥 卷之八

江戸

金龍火狂訓亭

為永春水著

身十五章

花情 風月 春 告鳥 卷之八... 江戸 金龍火狂訓亭 為永春水著

昭和五年四月三日 神保五彌氏贈寄

通子もよきの縁のゆるゆる思ひ持たつてくるくく日本にわかれさせ
 今日もまごの娘を待て候るを女に嫁入るもつらふるはつらふ
 今の嫁入るをひけり出免るはつたふもつらふもつらふもつらふ
 中のるの藤子の内女の妻「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」

二重ねのつらふもよきの縁のゆるゆる思ひ持たつてくるくく日本にわかれさせ
 今日もまごの娘を待て候るを女に嫁入るもつらふるはつらふ
 今の嫁入るをひけり出免るはつたふもつらふもつらふもつらふ
 中のるの藤子の内女の妻「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」
 「ハイハイ入下りいさゝか藤子をやゆける」

指^{さし}差^さ身^みの^の申^{まう}入^い青^{あお}貝^い由^ゆ十^{じゅう}南^{なん}天^{てん}の^の夢^{ゆめ}を^を形^{かたち}入^い金^{かね}十^{じゅう}南^{なん}天^{てん}の

算^{さん}六^{りく}の^の比^ひは^はら^らの^のさ^さん^{さん}ど^ど由^よ後^ご妻^{さい}母^ぼ入^いる^るさ^さ格^{かく}を^をあ^あら^ら

お^おた^たら^らう^う作^{さく}者^{しや}日^{にち}モ^もシ^し好^{こう}風^{ふう}ま^まい^いら^らん^んて^てい^いふ^ふか^かせ^せう^う子^こ

猶^{なほ}六^{りく}〜[〜]ゆ^ゆら^ら〜[〜]か^か〜[〜]ま^まが^が〜[〜]と^と見^み〜[〜]大^{おほ}女^{むすめ}の^の夢^{ゆめ}を^を形^{かたち}入^い

捨^{すて}子^この^の形^{かたち}の^のう^うら^ら〜[〜]と^とよ^よふ^ふ羽^は羽^は〜[〜]今^{いま}日^{にち}入^い湯^ゆ入^いぬ^ぬと^と見^み〜[〜]

夢^{ゆめ}の^のさ^さん^{さん}ど^どの^のま^まい^いら^らん^んて^てい^いふ^ふか^かせ^せう^う子^こ

不^ふ上^{じやう}の^の形^{かたち}の^のう^うら^ら〜[〜]と^とよ^よふ^ふ羽^は羽^は〜[〜]今^{いま}日^{にち}入^い湯^ゆ入^いぬ^ぬと^と見^み〜[〜]

百^{ひゃく}年^{ねん}後^ごの^の好^{こう}士^しの^の見^みせ^せん^ん〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

お^おた^たら^らう^う作^{さく}者^{しや}日^{にち}モ^もシ^し好^{こう}風^{ふう}ま^まい^いら^らん^んて^てい^いふ^ふか^かせ^せう^う子^こ

西^{せい}の^の海^{かい}〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

我^{われ}累^{るい}が^がき^きの^の格^{かく}〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

強^{かう}氣^き女^{にょ}〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

お^おた^たら^らう^う作^{さく}者^{しや}日^{にち}モ^もシ^し好^{こう}風^{ふう}ま^まい^いら^らん^んて^てい^いふ^ふか^かせ^せう^う子^こ

ま^まの^の形^{かたち}の^のう^うら^ら〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

今^{いま}日^{にち}入^い湯^ゆ入^いぬ^ぬと^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

迎^{むか}え^えの^の形^{かたち}の^のう^うら^ら〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]と^とい^いふ^ふ〜[〜]

のりぎり娘への本を綴り行ふ （サマノ由安舟とまのり）
 今おのり入るは今日の日也 梅 （五） （六） （七） （八） （九） （十） （十一） （十二） （十三） （十四） （十五） （十六） （十七） （十八） （十九） （二十）
 由安舟とまのり （二十一） （二十二） （二十三） （二十四） （二十五） （二十六） （二十七） （二十八） （二十九） （三十）
 細法でもさへ （三十一） （三十二） （三十三） （三十四） （三十五） （三十六） （三十七） （三十八） （三十九） （四十）
 昔 （四十一） （四十二） （四十三） （四十四） （四十五） （四十六） （四十七） （四十八） （四十九） （五十）
 居る中 （五十一） （五十二） （五十三） （五十四） （五十五） （五十六） （五十七） （五十八） （五十九） （六十）
 金糸 （六十一） （六十二） （六十三） （六十四） （六十五） （六十六） （六十七） （六十八） （六十九） （七十）

従者 （一） （二） （三） （四） （五） （六） （七） （八） （九） （十）
 梅 （十一） （十二） （十三） （十四） （十五） （十六） （十七） （十八） （十九） （二十）
 けが （二十一） （二十二） （二十三） （二十四） （二十五） （二十六） （二十七） （二十八） （二十九） （三十）
 任せ （三十一） （三十二） （三十三） （三十四） （三十五） （三十六） （三十七） （三十八） （三十九） （四十）
 兆者 （四十一） （四十二） （四十三） （四十四） （四十五） （四十六） （四十七） （四十八） （四十九） （五十）
 かく （五十一） （五十二） （五十三） （五十四） （五十五） （五十六） （五十七） （五十八） （五十九） （六十）
 かの （六十一） （六十二） （六十三） （六十四） （六十五） （六十六） （六十七） （六十八） （六十九） （七十）



梅 十上り... 梅 十下り... 梅 十中り... 梅 十下り... 梅 十上り... 梅 十中り... 梅 十下り... 梅 十上り... 梅 十中り... 梅 十下り...

梅 十上り... 梅 十中り... 梅 十下り... 梅 十上り... 梅 十中り... 梅 十下り... 梅 十上り... 梅 十中り... 梅 十下り... 梅 十上り...

花の昔

お娘のさむざむのいねおらうど〜

風流
細工けいじん形
細工あま

● 細工あまおら
お娘のさむざむのいねおらうど〜

ふゆ〜 妻あの人

春雅



● 細工あまおら
お娘のさむざむのいねおらうど〜

● 人形匠の國町の娘女を奉る娘女とのり仲居山女

● 身どがの〜ついで 雲の舞あ〜はら〜居る 伴登雲一鏡

● 赤山豆粒むふ〜こ〜人 雲を在雲上持〜るもの

● 雲をのら〜るもの 軒前入思胡抄ゆ〜る妙なる

● 雲つ〜せ〜る雲を幾数とま〜く〜人〜る

● 人物の二十四人々〜りのそのり 雲の物成爲ど〜る

● 雲の勢をのせ〜る雲の大宮サ赤山豆よりもの〜る

● 八雲粒〜るものゆ〜る〜る外の雲もの〜る〜る



女告八

おもひもまたぬましる今お月の者の梅よあまんるす月
 うらサ 梅 一せんうら梅よあまんるす梅よあまの月
 お宿のものにさる鳥と自惚のお結はさるめとさる
 甘うト結はさるお結は先刻のまゝあよりりよくまゝ
 やんまらひらき
 一先刻しこの固庵おとくお結を
 ト結をうしとさるく結をするおうら梅よあまの月
 ハイおあつらんぐんぐんお結は
 一アハく内書書でどどお結は
 一お出ト多ひらきさる梅よあまの月
 一さるお結は

おもひもまたぬましる今お月の者の梅よあまんるす月
 うらサ 梅 一せんうら梅よあまんるす梅よあまの月
 お宿のものにさる鳥と自惚のお結はさるめとさる
 甘うト結はさるお結は先刻のまゝあよりりよくまゝ
 やんまらひらき
 一先刻しこの固庵おとくお結を
 ト結をうしとさるく結をするおうら梅よあまの月
 ハイおあつらんぐんぐんお結は
 一アハく内書書でどどお結は
 一お出ト多ひらきさる梅よあまの月
 一さるお結は

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ
あつたてのうらみはなほ

新

風月
春告鳥卷之八

